

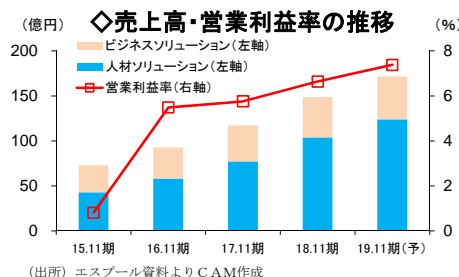
# 企業ニュース エスプール

(東証JASDAQ : 2471) <http://www.spool.co.jp>

作成者:村上大志

## 障害者雇用支援に対する豊富なノウハウを持つ

1999年、設立。人材派遣や人材紹介サービスの人材ソリューション事業と、農業を通じた障害者雇用支援やEC通販の発送代行、採用支援などを行うビジネスソリューション事業を展開する。障害者雇用支援では、障害者の雇用を希望する企業に対して、障害者の紹介から職場（農園）の提供・教育・定着までトータルでサポートしている。民間企業の障害者の法定雇用率は2018年4月に2.0%から2.2%に引き上げられ、2020年4月までに2.3%へ引き上げが予定されている。厚生労働省の「平成29年障害者雇用状況の集計結果」によると、民間企業の障害者の実雇用率は1.97%、法定雇用率達成企業の割合は50%と、事業拡大余地があろう。18.11期のセグメント別売上高構成比は人材ソリューション70%、ビジネスソリューション30%。



## 事業環境は良好、2桁成長に期待

18.11期の連結業績は売上高が147億9,700万円、前期比27%増、営業利益が9億8,300万円、同46%増。営業利益率は6.6%、同0.8ポイント改善。人材ソリューション事業の売上高は103億8,200万円、同34%増、営業利益は10億400万円、同48%増。主力のコールセンター業務において、未経験者の活用に長けたグループ型派遣が大きく増加し業績に寄与した。ビジネスソリューション事業の売上高は44億8,200万円、同12%増、営業利益は8億7,400万円、同20%増。障害者雇用支援サービスで参画企業が急増し、設備販売や農園の管理収入が大幅に増加した。全社費用及びセグメント間取引消去であるセグメント利益の調整額は▲8億9,500万円だった。

19.11期の会社計画は売上高が170億6,600万円、前期比15%増、営業利益が12億6,000万円、同28%増。労働力人口の減少で人材派遣、アウトソーシングを活用する企業の増加や、障害者の法定雇用率の段階的な引き上げが事業拡大の追い風となっている。主力の人材ソリューション事業では、コールセンター業務を中心に稼働スタッフが順調に増加しており、安定した収益基盤を構築している。ニーズの高い地域に集中出店することで今後も業績の拡大が見込まれよう。

### [株価動向・投資判断]

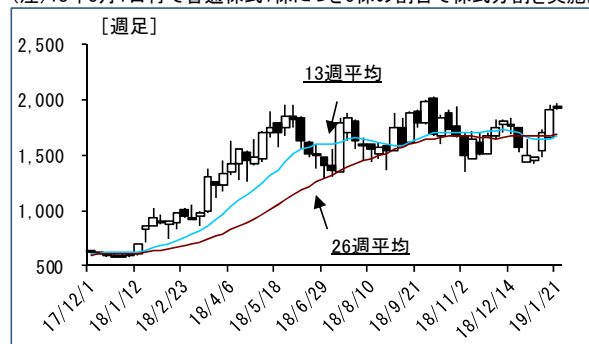
好調な決算を受け株価は上昇傾向である。事業環境は良好で、今期も高成長が期待できよう。

#### <2471 エスプール 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.11	11,696 ( 27)	674 ( 33)	687 ( 39)	423 ( 4)	136.6	18.00
18.11	14,797 ( 27)	983 ( 46)	1,007 ( 47)	619 ( 46)	39.3	5.00
19.11 予	17,066 ( 15)	1,260 ( 28)	1,248 ( 24)	811 ( 31)	51.4	10.00

(注)18年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。17.11期の1株利益及び1株配当は当該株式分割前の額を掲載。



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価(2019/1/21)	1,933 円
昨年来高値(高値日)	2,029 円(18/10/1)
同 安値(安値日)	582.8 円(18/1/4)
予想 P E R (19.11 予)	37.6 倍
1株株主資本(PBR算出用)	128.3 円
P B R	15.07 倍
予想配当利回り (1株当たり配当金10.00円)	0.52 %
R O E (18.11)	35.5 %
発行済み株式数	1,578 万株